

中国古典文学大系 24

平凡社

六朝・唐・宋小説選

前野直彬 編訳

編 訳 者 紹 介

まえのなまえ

前野直彬 1920年東京生。東京大学文学部卒。東京大学教授。専攻 中国文学。主著訳書 『唐詩選』(岩波文庫)『唐代伝奇集』1, 2(平凡社「東洋文庫」)『唐代詩集』下『宋・元・明・清詩集』『閔徵草堂筆記・子不語他』(平凡社「中国古典文学大系」)『唐代の詩人達』(東京堂出版)『風月無尽』(東京大学出版会)

中国古典文学大系 全60巻

六朝 唐・宋 説選

第24巻

1968年7月5日 初版第1刷発行
1983年6月15日 初版第13刷発行

定価 2,500円

著 訳 者 前 野 直 彬

東京都千代田区三番町5番地

発 行 者 下 中 邦 彦

発 行 所	郵便番号 102 東京都千代田区 三 番 町 5 番 地 振替・東京8-29639	株 式 会 社	平 凡 社
-------	--	---------	-------

不良本のお取替えは直接読者サービス係まで 印刷 東洋印刷株式会社
お送り下さい。(送料は小社で負担します)。 製本 株式会社 石津製本所

© 株式会社 平凡社 1968 Printed in Japan

年 表

西暦は年号の元年を示す。事項のうち*印は
文人・文学者関係、〈太字〉は書名。
各事項末尾の数字は西暦。年号の上の ① は
改元の月。この数字のないものは正月改元。

西暦	皇 帝	年 号	事 項
B. C.	〔前漢〕		
141	武 帝	後 元	1 月景帝崩じ、武帝即位。
140		建 元	
139			張騫西域に使いす。
136			董仲舒の建策により、五經博士 置かる。
134		元 光	
128		元 朔	
122		元 狩	* 淮南王劉安自殺〈淮南子〉。 * 司馬相如死 B. C. 117。
116		元 鼎	
110		元 封	
104		太 初	* 董仲舒死。
100		天 漢	
96		太 始	
92		征 和	司馬遷〈史記〉成る B. C. 90。
88		後 元	東方朔死 B. C. 87。
86	昭 帝	始 元	* 司馬遷死。
80		元 鳳	
74	宣 帝	元 平	李陵死。
73		本 始	
69		地 節	
65		元 康	
61		神 爵	蘇武死 B. C. 60。
57		五 鳳	
53		甘 露	
49	元 帝		12月宣帝崩じ、元帝即位。
48		初 元	
43		永 光	
38		建 昭	
33	成 帝	竟 寧	王昭君匈奴に嫁す。
32		建 始	
28		河 平	
24		陽 朔	
20		鴻 嘉	
16		永 始	趙飛燕皇后となる。
12		元 延	

西暦	皇 帝	年 号	事 項
8		綏 和	
7	哀 帝		
6		建 平	* 劉向死〈説苑〉。
2		元 寿	
1			6 月哀帝崩じ、王莽政を執る。
A. D.			
1	平 帝	元 始	
5			12月平帝崩。
6	孺子嬰	居 攝	
	〔新〕		
8	王 莽	初 ^① 始	王莽帝位を奪う。前漢滅ぶ。
9		始建国	
14		天 鳳	* 揚雄死 18。
20		地 皇	
23	淮陽王	更 ^② 始	9 月王莽誅殺され、新滅ぶ。 * 劉歆死〈七略〉。
	〔後漢〕		
25	光武帝	建 ^③ 武	6 月光武帝即位。* 班彪死 54。
56		中 元	
58	明 帝	永 平	
76	章 帝	建 ^④ 初	* 班固〈漢書〉成る 82。
84		元 ^⑤ 和	
87		章 ^⑥ 和	
88	和 帝		1 月章帝崩じ、和帝即位。
89		永 ^⑦ 元	* 班固獄死 92。
105	殤 帝	元 ^⑧ 興	12月和帝崩じ、殤帝即位。蔡倫 製紙法を発明？
106	安 帝	延 平	8 月殤帝崩じ、安帝即位。
107		永 初	
114		元 ^⑨ 初	
120		永 ^⑩ 寧	
121		建 ^⑪ 光	
122		延 ^⑫ 光	
125	北郷侯		3 月安帝崩じ、北郷侯帝位を継 ぐ。
	順 帝		10月北郷侯薨じ、順帝即位。
126		永 建	

西曆	南皇朝帝	年号	北皇朝帝	年号	事 項
414 416 419	恭 帝	元 熙		神 瑞 泰 常	劉裕帝と称し (宋)晋 亡 ぶ 420。
420 423 424	武 帝 少 帝 文 帝	永 初 景 平 元 嘉	太武帝	始 光	* 陶潜死 427 <搜神後記>。 * 祖冲之生 429。
428 432 435 440				神 應 延 和 太 延 太 平 - 真 君	* 劉義慶死 444 <幽明録>。
451 452 454 455 457 460 465	孝武帝 孝 建 大 明 前廢帝 明 帝	孝 建 大 明 永 光 景 和 泰 始	文成帝	正 平 興 安 興 光 太 安 和 平	* 任昉生 460。
466 467			献文帝	天 安 皇 興	* 吳均生 469。 * 劉敬叔死 470 <異苑>。
471 472 473 476 477			孝文帝	延 興 承 明 太 和	蕭道成、帝を 廢し宋亡 ぶ 479。
479	高 帝	建 元			* 王球 <異祥 記> なる (建 元以後?)。
483 494	武 帝 鬱林王 海陵王 明 帝	永 明 隆 昌 延 興 建 武			

西曆	南皇朝帝	年号	北皇朝帝	年号	事 項
498 499 500	東昏侯	永 泰 永 元	宣武帝	景 明	* 祖冲之死 500 <述異記>。 蕭衍帝を称し、 斉亡 ぶ 502。 * 殷芸、秘書 監司徒長史と なる (天監年 間) <小説>。
501 502	和 帝 〔梁〕 武 帝	中 興 天 監			
504 508 512 516 518 520 525 527 528			孝明帝	正 始 永 平 延 昌 熙 平 神 龜 正 光 孝 昌	* 任昉死 508。 * 吳均死 520。
529 530 531 532		普 通 大 通 中大通	孝莊帝	武 泰 建 義 永 安	
533			敬 帝 節閔帝 孝武帝	建 明 普 泰 中 興 太 昌 永 興 永 熙	北魏亡び東魏 起こる 534。
535		大 同	〔西魏〕 文 帝	大 統	西魏起こり、 東西両魏分立 535。
546 547		中 大 太 清			* 楊銜之 <洛 陽伽藍記> なる 547 ? 東魏亡び北齊 起こる 550。
550 551 552 554 555	簡文帝 豫章王 元 帝 貞陽侯 敬 帝	大 宝 天 正 承 聖 天 成 紹 泰	廢 帝 恭 帝		後梁起る 555。

4 年 表

西暦	南 皇 朝 帝	年 号	北 皇 朝 帝	年 号	事 項
556	〔陳〕 武 帝	太 ^① 平	〔北周〕 孝閔帝		
557		永 ^② 定			宇文覺北周を立て西魏亡ぶ 557. 陳の霸先帝を称し梁亡ぶ 557。
558				明 帝	
559				武 成	
560		天 嘉		保 定	
561				天 和	
566		天 ^③ 康			
567		光 大			
569		宣 太 建			
572				建 ^④ 德	
578	臨海王 宣 帝		宣 帝	宣 政	北周, 北齊を滅ぼす 577。
579			大 成	大 象	隋王楊堅帝と称し, 北周亡ぶ 581。
			静 帝		
			〔隋〕 文 帝	開 ^⑤ 皇	* 顔之推死 (開皇年間)。
581					
583		後 主			
587		至 德			隋, 後梁を滅ぼす 587。
		禎 明			
589	〔隋〕 文 帝				隋, 陳を滅ぼして天下を統一。
601		仁 寿			
604	煬 帝				
605		大 業			
617	恭 帝	義 寧			
	〔唐〕				
618	高 祖	武 ^⑥ 德	煬帝殺され, 李淵帝と称す 618。		
626	太 宗	貞 觀	唐天下統一 627. 玄奘インドより帰る 645。		
627					
649	高 宗				
650		永 徽			
656		顯 慶			
661		竜 朔			
664		麟 德			
666		乾 封	老子を尊び太上玄宗皇帝の称号		

西暦	皇 帝	年 号	事 項
668		總 ^⑦ 章	を贈る 666。
670		咸 ^⑧ 亨	
674		上 ^⑨ 元	
676		儀 ^⑩ 鳳	
679		調 ^⑪ 露	
680		永 ^⑫ 隆	
681		開 ^⑬ 耀	
682		永 ^⑭ 淳	
683	中 宗	弘 道	
684		嗣 聖	
	則天武后〔周〕		
684		文 明	武后中宗を廃し, 弟旦を立つ (睿宗)。
		光 宅	
685		垂 拱	
689		永 昌	
690		載 初	
		天 授	武后自立して帝と称し, 国号を周と改む。
692		如 ^⑮ 意	
		長 ^⑯ 壽	
694		延 載	
695		証 聖	
		天 冊	
		萬 歲	
		萬 歲	
		登 封	
696		萬 歲	
		通 天	
697		神 功	
698		聖 曆	
700		久 視	
701		大 足	
		長 安	
	〔唐〕		
705	中 宗	神 竜	中宗復位し, 国号を復す。
707		景 竜	
710		唐 隆	
	睿 宗	景 雲	
712		太 極	
	玄 宗	延 和	
		先 天	
713		開 元	* 張鷟死 (開元年間) <遊仙窟>。

西暦	皇 帝	年 号	事 項
742		天 宝	楊氏貴妃となる 745。* 沈既濟生 750? 安祿山反す 755。
756	肅 宗	至 ^① 德	
758		乾 ^② 元	安祿山殺され長安回復 757。
760		上 ^③ 元	
762	代 宗	宝 ^④ 元	
763		広 ^⑤ 徳	
765		永 ^⑥ 泰	
766		大 暦	* 陳玄祐〈離魂記〉なる(大暦末)。* 柳宗元生 773。* 元稹生 778。
780	徳 宗	建 中	* 牛僧孺生 780。* 陳既濟〈任氏伝〉なる 781。* 沈亞之生 781。
784		興 元	
785		貞 元	* 許堯佐進士となる(貞元初)。* 李景亮進士となる 794。* 白行簡〈李娃伝〉なる 795。* 沈既濟死 800? * 李公佐〈南柯太守伝〉なる 802?
805	順 宗	永 ^⑦ 貞	
806	憲 宗	元 和	* 陳鴻〈長恨伝〉なる 806。* 柳宗元死 819 〈李赤伝〉〈河間伝〉。
821	穆 宗	長 慶	
825	敬 宗	宝 曆	* 白行簡死 826。
827	文 宗	大 和	* 薛調生 830。* 元稹死 831。* 沈亞之死 832?
836		開 成	
841	武 宗	会 昌	仏教の大弾圧 845。
847	宣 宗	大 中	* 牛僧孺死 847 〈玄怪録〉。* 杜光庭生 850。
860	懿 宗	咸 ^⑧ 通	* 薛調死 872 〈無双伝〉。
874	僖 宗	乾 ^⑨ 符	王仙芝の乱 874~878。黄巢の乱起こる 875。* 裴鉞, 成都節度使副使となる 878。
880		広 ^⑩ 明	
881		中 ^⑪ 和	
885		光 ^⑫ 啓	* 孟棻〈本事詩〉なる 886。
888		文 ^⑬ 徳	
889	昭 宗	竜 紀	
890		大 順	李克用の乱 890。
892		景 福	
894		乾 寧	
898		光 ^⑭ 化	

西暦	皇 帝	年 号	事 項
901		天 ^⑮ 復	
904	哀 帝	天 ^⑯ 祐	朱全忠哀帝を廢し, 唐亡ふ 907。
	[後梁]		
907	太 祖	開 ^⑰ 平	朱全忠帝と称す 907。
911		乾 ^⑱ 化	
913	末 帝		
915		貞 ^⑲ 明	* 徐鉉生 916。
921		竜 ^⑳ 徳	
	[後唐]		
923	莊 宗	同 光	後梁亡ふ 923。後唐, 蜀を滅ぼす 925。
926	明 宗	天 ^㉑ 成	4月莊宗殺され, 明宗即位 926。
930		長 ^㉒ 興	* 楽史生 930。* 杜光庭死 933。
934	閔 帝	応 順	
	廢 帝	清 泰	後唐亡ふ 936。
	[後晉]		
936	高 祖	天 福	南唐江南に起こる 937。
942	出 帝		高祖崩じ出帝立つも改元せず。
944		開 ^㉓ 運	遼大挙南下し晋帝を殺し晋亡ふ 946。
	[後漢]		
947	高 祖	天 福	年号を天福に戻す。
948	隱 帝	乾 祐	後漢亡ふ 950。
	[後周]		
951	太 祖	広 順	
954	世 宗	顕 徳	南唐江北の地を献じ, 帝号を廢す 959。趙匡胤帝と称し周亡ふ 960。
959	恭 帝		
	[宋]		
960	太 祖	建 隆	
963		乾 ^㉔ 徳	
968		開 ^㉕ 宝	* 孫光憲死 968。南漢降る。南唐入朝す 971。
976	太 宗	太 ^㉖ 平	北漢降り, 宋の天下統一成る 979。
984		興 ^㉗ 国	
988		雍 熙	
990		端 拱	
990		淳 化	* 徐鉉死 991 〈稽神録〉。
995		至 道	
998	真 宗	咸 平	
1004		景 徳	* 楽史死 1007 〈繅珠伝・楊太真外伝〉。
1008		大 中	
		祥 符	

6 年 表

西暦	皇 帝	年 号	時 項
1017	仁 宗	天 禧	
1022		乾 興	
1023		天 聖	
1032		明 道	
1034		景 祐	
1038		宝 元	
1039		康 定	
1041		慶 曆	
1049		皇 祐	
1054	英 宗	至 和	王安石新法を施行 1069。
1056		嘉 祐	
1064		治 平	
1068		神 宗	

西暦	皇 帝	年 号	事 項
1078	哲 宗	元 豐	* 欧陽脩死 1072。
1086		元 祐	* 司馬光・王安石死 1086。
1094		紹 聖	
1098	徽 宗	元 符	
1101		建 中	
		靖 国	
1102		崇 寧	
1107		大 觀	
1111		政 和	
1118	欽 宗	重 和	
1119		宣 和	* 洪邁生 1123。
1126		靖 康	金南下し徽宗・欽宗らを捕えて北に去り、宋亡ぶ（靖康の変）。

目次

六 朝

一 竜 穴
二 山中の女
三 桃花源
四 靈薬の倉
五 貞女 峽
六 姑 舒 泉
七 浴室の尼僧
八 親の因果
九 馬の魂
一〇 雌雄の雉
一一 流星を飲む
一二 柳の下 銭
一三 腹中のスッポン
一四 蘇 蛇
一五 茶の虫

晋 陶 潜

一	竜 穴	三
二	山中の女	三
三	桃花源	四
四	靈薬の倉	五
五	貞女 峽	五
六	姑 舒 泉	六
七	浴室の尼僧	六
八	親の因果	六
九	馬の魂	七
一〇	雌雄の雉	八
一一	流星を飲む	九
一二	柳の下 銭	一〇
一三	腹中のスッポン	一〇
一四	蘇 蛇	一〇
一五	茶の虫	一一

一六	冥土の迎え	一一
一七	もう一人の自分	一一
一八	迎えの靈柩車	一二
一九	厩の中の幽霊(一)	一三
二〇	干 宝	一四
二一	地獄の沙汰も	一四
二二	厩の中の幽霊(二)	一五
二三	虎となる術	一五
二四	白水の素女	一六
二五	女神の夫	一七
二六	雷の家	一八
二七	先帝の靈	一九
二八	谷川の女	一九
二九	曹操の船	二〇
三〇	墓 争 い	二〇
三一	盗難を知らせた幽霊	二一
三二	流れる棺	二二
三三	甘 羅	二三
三四	川越えの化物	二三
三五	吊問の作法	二三
三六	腹中の化物	三四
三七	僧侶の徳	三五
三八	亡 霊 を 見 る 人	三五
三九	毒を盛られた亡霊	三六
四〇	虹の子供	三七
四一	柳をなめる人	三七

二	異苑 いえん	劉宋 りゅうそう	劉敬叔 りゅうけいしゅく	〇
一	酒を飲む虹 さけをのむにじ			元
二	湖中の釜			元
三	岩穴の中の世界			〇
三	首が二つある人			〇
三	凶宅			元
四	夜道の化物			元
四	蝶の怪			元
四	壁から出る腕			元
四	病室の首			〇
四	觸骸の火			〇
四	吉凶の板			〇
五	虎と易者			三
五	熊の人助け			三
五	忠犬(一)			三
五	忠犬(二)			三
五	犬の怪			三
五	狐の帳簿			三
五	諸侯と伯表			三
五	蛇と雷			三
五	蛇の仇討ち			三
五	蛇の婿			三
六	亀の恩返し			三
六	亀になった母			三

四	鳴る鹽 なるとしほ			〇
五	飛ぶ劍			〇
六	地中の豚			〇
七	石の中の鳥			二
八	駱駝の水			二
九	人參			二
一〇	鶴の昔話			二
二	白鸚鵡 はくおう			二
三	杜鵑 ほととぎす			二
三	虎の化けた美人			三
四	虎と寝た人			三
五	鼠の恩返し			三
六	貂			三
七	竜の肉			三
八	土竜			三
九	蛟竜の復讐 きょうりゅうのふしゅう			三
一〇	蛟竜退治			三
三	ものを食う病氣			三
三	竹と蛇と雉 けし			三
三	蛇 へび と蛇 へび と蛇 へび			三
四	蛇 へび と桑			三
五	神亀			三
五	詔勅をのぞく蠅 はま			三
七	火井 かゐ			三
七	黄色い頭の鮮卑 せんひ			三
八	王者となるべき人			三

三	沙丘	三
三	玉馬	三
三	机をさぐる手	三
三	火事の旗	三
三	背の伸びる人	三
三	手相	三
三	厄よけの銭	三
三	二つの楯	三
三	首のない姿	三
三	空を飛ぶ帽子	三
三	首になった焼肉	三
三	降る薄絹	三
三	むかでと老婆	三
三	五月の禁忌	三
三	梅姑廟	三
三	便所の神	三
三	哀双廟	三
三	車にのせてもらう神	三
三	鬼子母の危難	三
三	灰色と黄色	三
三	冥土の大工	三
三	うなぎ様の廟	三
三	山中の双六	三
三	肉食の罰	三
三	化物と光を争う	三
三	孝行な幽霊	三

三	幽霊の子	三
三	夫を救う幽霊	三
三	幽霊の形見	三
三	臨終の一言	三
三	木の上の老婆	三
三	天気を知らせる化物	三
三	家にいすわる化物	三
三	武帝の売り食い	三
三	義理がたい幽霊	三
三	大象の夢	三
三	衡陽まで待つ	三
三	棺にはいる夢	三
三	二疋の絹	三
三	白衣の人	三
三	小人の兵隊	三
三	犬の妻	三
三	猿の妻	三
三	赤衣の男	三
三	嫁入りをきらう娘	三
三	孤の下女	三
三	にせの夫	三
三	狐の中から狐が出る	三
三	盗みをする髻	三
三	山中の老人	三
三	冥土で結ばれた縁	三
三	鹿になった猫師	三

二	虎の皮	九
三	のどの中の蛇	七
四	妻をさがす法	七
五	火事を防ぐ法	七
六	二つの戒め	七
七	かさぶたを食べる人	七
八	話しかけられない人	七

三

述異記

南齊 祖冲之

一	みかんを守る神	三
二	金鶏	三
三	瓜畑の神	三
四	神の引越	三
五	石亀の眼	三
六	比肩の人	三
七	神助	三
八	鶴の兄弟	三
九	化物の来る家(一)	三
一〇	化物の来る家(二)	三
一一	袋の中の目玉	三
一二	樹上の人	三
一三	無実の罪	三
一四	笑う化物	三
一五	冥土で会った娘	三
一六	冥界の軍馬	三

四

漢武故事

作者不詳

一	武帝の幼時	八
二	継母殺し	八
三	守り神	八
四	衛皇后	八
五	神仙の術	八
六	微行の危難	八
七	神君	八
八	遲筆速筆	八
九	天下の才	八
一〇	三代の不遇	八
一一	仙人を呼ぶ楼	八
一二	神明殿	八
一三	東方朔	八
一四	血を食った人	八
一五	瘡をなおす法	八
一六	つましい幽霊	八
一七	南郡	八
一八	幽霊への贈物	八
一九	形見の絹	八
二〇	別れをつげる遺骸	八
二一	恋人の訪問	八
二二	魂の形	八
二三	便所の化物	八

四	西王母	空
三	建章宮	七
六	拳夫人	六
七	武帝の死	六
八	茂陵の靈異	九

五	趙飛燕外伝	作者不詳 二〇
---	-------	---------

唐

六	遊仙窟	唐 張鷟 二二
---	-----	---------

七	江綰「白猿伝」補説	作者不詳 二五
---	-----------	---------

八	魂のぬけ出た話	陳玄祐 二六
---	---------	--------

九	枕の中の世界の話	沈既濟 二〇
---	----------	--------

一〇	任氏の物語	沈既濟 二五
----	-------	--------

一一	広異記	戴孚 二六
----	-----	-------

一二	仙人となった旧友	二七
----	----------	----

二	昇天した人	二五
三	河上公	二五
四	刑場の仙人	二六
五	山中の女	二六
六	何二娘	二七
七	冥土の説法	二八
八	一飯の恩	二八
九	魚をとかす薬	二九
一〇	破山の剣	二九
一一	蔣清ではない	二九
一二	冥土の借財	三〇
一三	泰山三郎	三〇
一四	華岳夫人の浮氣	三一
一五	太一の神	三一
一六	神の婿になりそこねた人	三一
一七	冥土への身代わり	三二
一八	紙銭の買物	三二
一九	大きな顔の女	三三
二〇	自分の葬式をした人	三三
二一	子供を取る亡霊	三三
二二	墓を焼かれた亡霊	三三
二三	名剣の徳	三四
二四	鏡を買う娘	三四
二五	乱世の妻	三四
二六	冥土の道づれ	三五
二七	二世をかけた恋	三五

六	自分を占う	二七	南海の怪物	三三
元	太歳	二七		
三	呪いの人形	二六	一二 李赤の物語	二六
三	明器の謀叛	二六	一三 河間の物語	二七
三	つながった首	二〇	一四 柳毅の物語	二〇
三	羊の訴訟	二一	一五 南柯郡太守の物語	二二
三	船に通つて来る女	二三	一六 謝小娥の物語	二二
三	三生	二四	一七 李娃の物語	二三
三	歐陽忽雷	二四	一八 三つの夢の話	二四
三	成弼金	二五	一九 久遠の恋の物語	二五
三	虎になった老人	二六	二〇 鶯鶯の物語	二六
三	山魃	二七	二一 玄怪録	二七
三	笛吹きと虎	二六	一 橋の中の仙人	二八
三	なぐられた虎	二九	二 耳の中の国	二八
三	虎にされた人	三〇	三 夜中に来る女	二九
三	朱都事	三一	四 袋の怪	三〇
三	象牙の中の竜	三一	五 冥府の客	三〇
三	巴西侯	三二		
三	狐のおしかけ婿	三六		
三	天狐	三七		
三	狐の兄弟	三九		
三	狐にせ仏	四〇		
三	狐の嫁	四一		
三	塚の中の蛇	四二		
三	海の怪物	四三		
三	蛇の報恩	四四		
			元 横	二〇
			陳 鴻	二五
			白行簡	二五
			李公佐	二五
			柳宗元	二七
			李朝威	二〇
			牛僧孺	二〇

六	將軍の墓	三六
七	便所の宴	三八

二二 ふしぎな夢の話

沈亜之	三〇
-----	----

二三 続玄怪録

李復言	三三
-----	----

一	杜子春の物語	三三
二	山を下りた友	三七
三	定婚店	三〇
四	瘤の中の猿	三三
五	冥土の土工	三四
六	靴下を縫う妻	三五
七	不正合格	三七
八	たすねて来る母	三六
九	一滴の水	三〇
一〇	鯉になった役人	三三

二四 無双の物語

薛調	三七
----	----

二五 伝奇

裴鉞	三六
----	----

一	枯井戸の中	三三
二	崑崙奴	三三
三	聶隱娘	三四
四	守将の霊	三八
五	仙薬の番人	三六

六	雷退治	三五
七	槐の神	三五
八	水精	三七
九	蛇を制する術	三六

二六 河東記

作者不詳

一	元長史	三七
二	三本の刀	三七
三	板橋の三娘子	三七
四	地神の夫	三八
五	馬丁をつとめる亡霊	三〇
六	蓮を持つ女	三三
七	山林を慕う妻	三四

宋

二七 楊太真外伝

樂史	三六
----	----

上の巻

三六	
----	--

二八 青瑣高議

劉斧	三六
----	----

一 南北の国々

張耒	三六
----	----

三	韓湘子 かんじょうし の物語	四三
四	小蓮 しょうれん の話	四三
五	二人妻	四八
六	幽霊 おうれい の芸者	四〇
七	譚意歌 たんいか の物語	四七
八	王樹 きうじゆ の物語	四四
解 説		四三
付 図	南北朝時代地図	四五
	唐代地図	四六
	唐の長安・唐の洛陽	四七
	長安城南郊名勝古蹟図	四八
年 表		卷末 一六